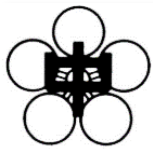


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
平成31年度 第1号
平成31年 4月 9日
校長 水谷 智子

平成31年度が始まりました。ご入学、ご進級おめでとうございます。今年度、加賀中学校二年目になりました。校長の水谷(みずがい)智子です。よろしくお願ひいたします。今年度、加賀中学校は409名の生徒でスタートします。今年度は、5月から元号が「令和」に変わります。新学習指導要領移行期2年目、「特別の教科 道徳」が始まり、小中一貫教育の推進、板橋区コミュニティ・スクール導入推進、働き方改革など、様々な点で「時代の変革期」を迎えています。

このような状況の中、加賀中学校でも様々な改革を行います。「変える」ということは「以前のことをやめて新しくする」ということ。今まで通りでなくなることを、寂しく感じることもあると思いますが、「変える」ということは「新しく創る」ということでもあります。「今」「この」子どもたちに必要なことは何か？「今」「この」加賀中で何ができるか？子どもたちの実態と社会の状況を見極めながら、「何のためにやるのか？」と目的を明確にし、「やりたいことをできるようにするにはどうしたらよいか？」とみんなで知恵を出し合って、新しい加賀中づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

今年度も、生徒一人一人の輝く未来に向けて、全教職員『チーム加賀中』となって、教育活動に邁進してまいります。皆様、どうぞよろしくお願ひします。

『仲間とともに学ぶ』ということ

～第62回入学式式辞から～

(前略) 学校で学ぶということは、「仲間とともに学ぶ」ということです。その際に大切な三つのCについてお話しします。

一つ目のCはCommunication(コミュニケーション)です。コミュニケーションとは「伝えあい」。自分の思いを伝え、相手の思いを受け取り、相互に理解し合いながら、互いの思いを通わせることです。思いは、言葉だけで伝えられるものではありません。話し方、表情、仕草など、直接顔を合わせて話し合う中でこそ、伝えられる思いがたくさんあります。様々な人とコミュニケーションを取ることで、自分が考えていたことがより明確になったり、自分にはなかった考えを知って考えの幅が広がったりするでしょう。今までよりも、より豊かな自分になるチャンスです。

二つ目のCは、Collaboration(コラボレーション)です。コラボレーションとは「一緒にすること」。協力、協働して物事を行うということです。一人の力ではできないことも、仲間と力を合わせ、知恵を出し合えば、できるようになります。仲間の頑張る姿を見て「自分も頑張ろう」と思えたり、一人ではできない我慢が、みんなと一緒にならできたりもします。行事や部活動など、仲間と一緒に一つの目標に向かって物事に取組み、達成した時の感動は何物にも代えがたいものになるでしょう。感動の涙は成長の証です。感動の涙をたくさん流しましょう。

三つ目のCは、Confidence(コンフィデンス)、「信じること、信頼」です。コミュニケーションとコラボレーションを支えるものは、自分と相手への信頼です。自分を、そして、仲間を信じる気持ちがなければ、学習の深まりも行事の成功も手にはできません。互いを大切に思い、それぞれが自分らしく安心していられる場、そんな集団の中でこそ、仲間とともに学び、新しい自分づくりにチャレンジすることができるのです。一人ひとりが大切にされていることを実感できる温かな言葉かけに満ちた教室を創りましょう。そして、「ありがとう」という言葉が自然にかわされる学校を創りましょう。

新入生の皆さん、加賀中学校での三年間、信頼しあえる仲間を作り、共に語り合い、共に汗を流しながら、日々成長していきましょう。そして、本校の教育目標である、「自ら学び、創造する生徒」「豊かな心で、思いやりのある生徒」「ねばり強く、健康な生徒」となって、自主自律、自主創造の伝統を受け継ぎながら、人との関わりを大切に、夢に向かって挑戦し続ける人であってほしいと願っています。(後略)

***** INFORMATION *****
今年度より、学校ホームページに「学校日記」のページを設けました。毎日の様子を随時掲載しています。

60周年記念オリジナルキャラクターのかがもんです。これからも加賀中学校の皆さんを応援していきたいと思ひます。よろしくお願ひします！



Kaga Junior High School
60th Anniversary